

湯水混合水栓柱

..... G211-KS

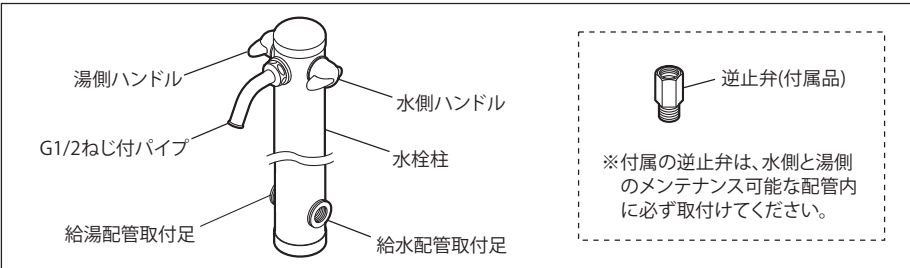
施工・取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用ください。

お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
読める所に必ず保管してください。

工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡しく下さい。

本製品について 各部の名称



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
 - 🚫 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 - 🔧 「分解してはいけません!」
 - 🚫 「指示した場所に触れてはいけません!」
 - 👉 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注意

- ⚠ (付属の逆止弁について)
 - 水側と湯側のメンテナンス可能な配管内に必ず取付けてください。
 - 正しい通水方向で取付けてください。
 - 給水・給湯配管取付足に直接取付けしないでください。抜けなくなるおそれがあります。
- ⚠ 散水用です。飲用などの用途には使用できません。
- 🚫 修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 湯水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても湯が出て、やけどをする事があります。逆配管の場合はハンドルの赤と青の左右を入れ替えてください。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 凍結が予想される地域には、取付けしないでください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

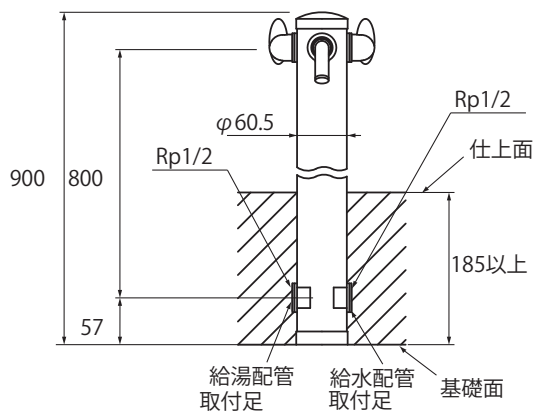
施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

施工について 施工手順

1 設置場所の確認

給水・給湯配管の位置を確認する。



注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
- 基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置してください。
- 給水・給湯配管は通常、右側が給水、左側が給湯です。逆配管の場合はハンドルの赤と青の左右を入れ替えてください。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水・給湯配管を接続する。

注意

- (付属の逆止弁について)
- 水側と湯側のメンテナンス可能な配管内に必ず取付けてください。
 - 正しい通水方向で取付けてください。



- 給水・給湯配管取付足に直接取付けしないでください。抜けなくなるおそれがあります。



注意

取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。

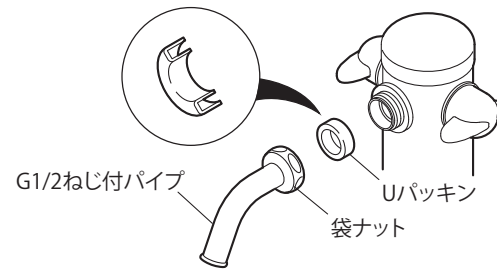


接続の際は配管取付足がまわらないように固定してください。

ウォータープライヤーなど

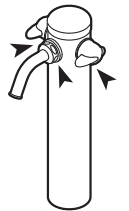
3 吐水口の取付け

G1/2ねじ付パイプを水栓柱に取付ける。



4 通水点検

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

- 🚫 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。



注意

- ⚠ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 水栓の左側には直接肌を触れないでください。給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。夏期や日中(昼間)には器具本体が高温になる場合があります。金属の表面に直接肌を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

